

勝山市文化財保存活用地域計画（概要版）

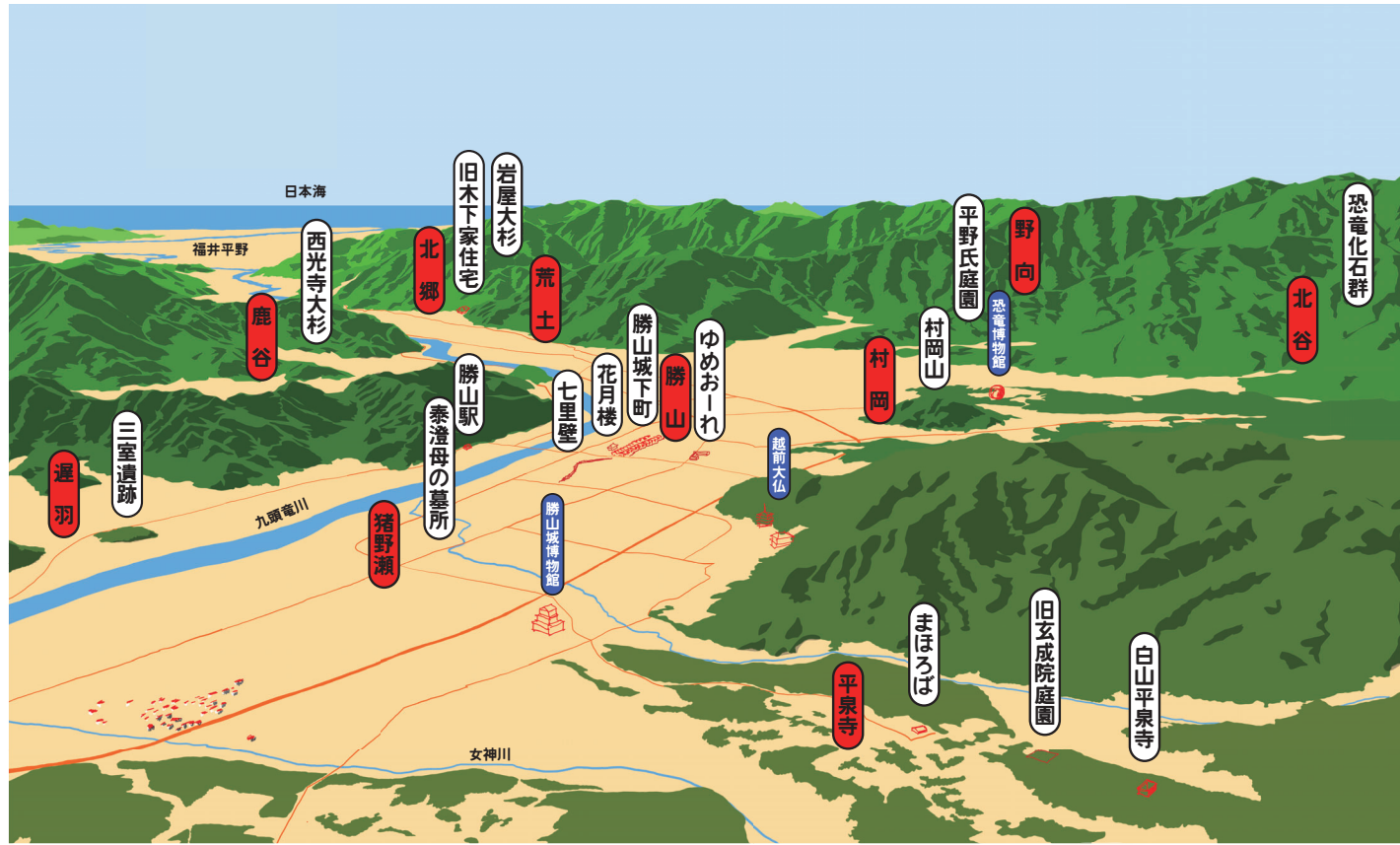
○本計画は、勝山市の誇る歴史文化の保護と活用に関するアクションプランです。

勝山市の概要

- 勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあります。東南は大野市、西南は福井市、北西は坂井市、吉田郡永平寺町、北は石川県に隣接しています。面積は253.88k㎡で、東西22.3km、南北17.0kmです。
- 市の周辺は、1,000m級の山々に囲まれ、中心部は県最大の河川である九頭竜川の中流域に位置しています。

市内各地区について

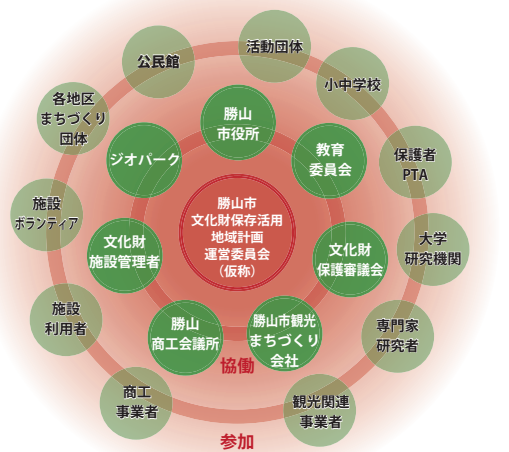
- 勝山市では、10地区それぞれの歴史や文化、人々の暮らしに目を向け、まちづくりを進めています。
- ①勝山地区 ④村岡地区 ⑦荒地地区 ⑩遅羽地区
- ②猪野瀬地区 ⑤北谷地区 ⑧北郷地区
- ③平泉寺地区 ⑥野向地区 ⑨鹿谷地区



文化財の保存・活用の推進体制

- 文化財の保存・活用には、各文化財の所有者や管理者だけでなく、市全体で推進することが必要です。また、民間事業者をはじめ、様々な関係者、団体と協働体制を構築し、それぞれのノウハウを持ち寄って、多様な手法で保存・活用を行っていくことが望まれます。
- 本計画の作成を契機として、文化財の保存・活用に対する意識を高め、住民参加の裾野を広げていきます。

本計画推進の中心となる「勝山市の体制」、計画の運営を担う「協働の体制」、他主体が主体的に関わる計画推進への「参加の体制」の3つの段階で、方針を定めます。



文化財の概要

- 勝山市内では85件（令和3年11月現在）の文化財が指定・登録されています。白山平泉寺、勝山城下町に関わるものが多く、両地区の集積がみられますが、市全域に分布しています。

分類	種別	指定・登録文化財の件数				合計
		国指定	県指定	市指定	国登録	
有形文化財	建造物	1	9	7	17	
	絵画	0	2	0	2	
	彫刻	3	3	0	6	
	工芸品	0	2	0	2	
	書跡	0	6	0	6	
	古文書	0	6	0	6	
	考古資料	0	4	0	4	
	歴史資料	0	7	0	7	
書画	0	1	0	1		
無形文化財		0	0	0	0	
民俗文化財	有形	0	4	0	4	
	無形	0	1	5	6	
記念物	旧跡	0	1	0	1	
	遺跡	1	1	8	10	
	名勝地	1	1	1	3	
伝統的建造物群保存地区	動物・植物	2	8	0	10	
	文化的景観	0	0	0	0	
合計		5	6	67	78	

文化財種別ごとの代表的な文化財



文化財の定義

- 本計画では、文化財保護法で規定されている6類型〔有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群〕及び埋蔵文化財、文化財の保存技術を幅広く捉え、文化財として対象とします。



勝山市文化財保存活用地域計画 (概要版) 2022年3月

計画の全文は勝山市公式ホームページに掲載予定です

計画の背景と目的

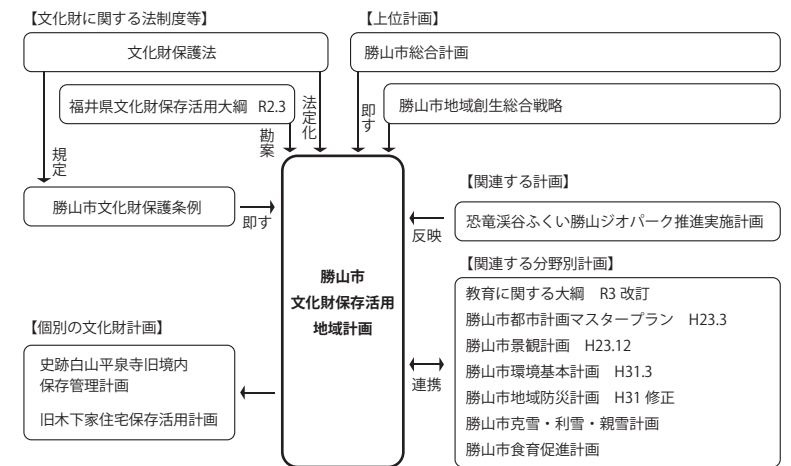
- 平成31年(2019)に文化財保護法が改正され、新たに文化財の保存と活用を両輪とする文化財行政の方針が示されました。この方針に従い、勝山市では地域の特色を活かしたまちづくりを継続しながら、さらに歴史や文化に焦点をあてる施策を発展・充実させるため、同法に定められた文化財の保存・活用のマスタープラン兼アクションプランである「勝山市文化財保存活用地域計画」を作成することとしました。

計画期間

- 本計画の計画期間は、令和5年度(2023)から令和14年度(2032)の10年間とします。

計画の位置づけ

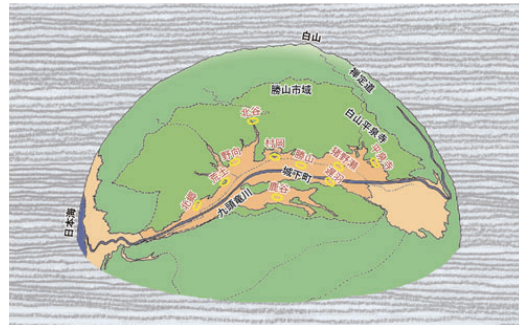
- 文化財に関する法制度や上位計画・関連計画に加えて、白山平泉寺と勝山城下町は日本遺産「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」に認定されており、日本遺産との連携を図っていくことも重要となります。



文化財の保存・活用の将来像

地球の歴史の中で重なる大地・生命・暮らしのストーリー
～まもり、つなげ、ひろげ、紡ぐ～

勝山市は、長い地球史を通して築かれた歴史文化のストーリーを感じることができる地域といえます。勝山市民は、この壮大な歴史文化を受け継ぎ、伝えていくことを目指します。



文化財の保存・活用に関する方針・課題・措置

○ 将来像と 2 つの基本的な方向性にもとづき、勝山市における文化財の保存と活用の 6 つの取組方針を設定し、それぞれの方針について課題を整理し、それに対する措置を示します。



将来像

地球の歴史の中で重なる大地・生命・暮らしのストーリー
まもり つなげ ひろげ 紡ぐ

基本的な方向性

方向性 1
文化財を未来へ
守り継いでいく

方向性 2
文化財から地区、
市域へと活動を
展開していく

取組方針

- 方針 1 調査研究
文化財の価値を解明・共有し
守り・受け継いでいく
- 方針 2 次世代への継承
文化財を地域の子供達に伝え
担い手を育てていく
- 方針 3 防災・防犯
災害等に備え
文化財を地域で守る
- 方針 4 活用・発信
文化財を体験できる場・機会を増やし
文化財の価値を創造、発信する
- 方針 5 多様な主体の参加促進
多様な主体が参加する
文化財を活かした取組を通して
地域の活動・生業を生み出す
- 方針 6 一体的・総合的な保存と活用
勝山市の歴史文化の特徴を
活かした取組を進める

課題

- ①文化財の調査や研究に関する課題
②文化財の調査や研究を行うための
人的・資金的な課題
③文化財の価値の共有に関する課題
- ①文化財の保存・継承に関する課題
②文化財の学びに関する課題
- ①文化財の災害への備えに関する課題
②文化財の災害時の対応に関する課題
③文化財の防犯への対応に関する課題
- ①文化財の活用に関する課題
- ①文化財に関連する地域活動に
関する課題
②文化財の保存・活用の体制に
関する課題
- ①関連する文化財の一体的な取組に
関する課題

保存活用の主要措置

- 1-1 文化財保護審議会事業
1-2 指定等の推進
1-3 文化財保護修理事業
1-4 文化財関連施設の管理運営
1-5 文化財の保管・管理事業
- 1-6 発掘調査事業
1-7 市史編さん事業
1-8 文化財記録保存事業
1-9 文化財の価値発信事業
- 2-1 小中学生ふるさと学習事業
2-2 文化財教育プログラム構築事業
2-3 親子体験事業
- 3-1 文化財火災防ぎょ訓練事業
3-2 文化財防災啓発事業
3-3 文化財ハザードマップの作成
3-4 文化財維持管理定期点検
- 3-5 災害発生時のマニュアル作成
3-6 文化財防犯
・防災環境整備支援事業
- 4-1 日本遺産活用推進事業
4-2 情報発信事業
4-3 データベース作成事業
4-4 デジタルアーカイブ
- 4-5 現代建築活用事業
4-6 勝山城博物館連携
・活用事業
4-7 郷土料理の継承
4-8 歴史的建物等活用事業
- 5-1 まちづくり団体等の地域活動支援
5-2 保存・活用の全体マネジメント体制づくり
5-3 歴史的風致維持向上計画の策定
5-4 市内周遊（文化財巡り）促進事業
- 6-1 道の駅指定管理事業
6-2 えち鉄利用促進
6-3 ふさと納税推進事業費
6-4 土産物等開発支援事業
（商工会議所補助金）
- 6-5 地域資源活用支援事業
（商工会議所補助金）
6-6 年の市振興事業
6-7 まちなか賑わい創出事業
6-8 おもてなし商品開発支援事業

勝山市の歴史文化の特徴

勝山市の歴史的特徴及び 10 地区の特徴、さらに文化財の特徴を鑑みて、勝山市の歴史文化の特徴として図の通りに整理します。

文化財の一体的・総合的な保存と活用

歴史文化の特徴を踏まえ、保存・活用のための歴史文化ストーリーおよび文化財保存活用区域を設定し、それにもとづく措置を示します。

歴史的背景	
太古・自然	● 恐竜時代からの地質、生物 ● 自然と風景
原始・古代	● 旧石器と勝山のはじまり ● 県内屈指の縄文遺跡、三室 ● 弥生文化の伝来 ● 弥生と古墳集落 ● 段丘上の古代集落 ● 大野郡毛屋郷
中世	● 泰澄と白山信仰の広がり ● 平泉寺の隆盛 ● 平泉寺の焼亡 ● 白山麓の一向一揆と山城 ● 柴田勝安の勝山築城
近世	● 平泉寺から「北袋」へ ● 松平氏の支配 ● 小笠原氏の勝山入封 ● 勝山藩、郡上藩、鯖江藩等の支配 ● 町と村のくらし ● 城下町と周辺の村々の交流 ● 大野、福井、白山麓との往來の要 ● 江戸時代の宗教
近代	● 勝山の明治維新 ● 九頭竜川と交通 ● たばこ産業の隆盛 ● 繊維産業と発電、鉄道
現代	● 勝山市の誕生 ● 現代建築と文化の醸成 ● 歴史文化を活かした地域づくり

地区ごとの特徴	
勝山地区	● 河岸段丘の地形を活かした城下町の町並み ● 近世の町民文化から発展した祭り、年中行事 ● 繊維など、近代産業の発展 ● 近代建築と文化の集積
猪野瀬地区	● 地形と農業（勝山水菜、メロン） ● 平泉寺とのつながりと自然地形（大師山） ● 郡上藩の代官所 ● 歴史をつくる現代建築（勝山城博物館、越前大仏）
平泉寺地区	● 国史跡白山平泉寺と日本遺産 ● 白山禅定道 ● 大工技術と建造物（寺社、民家）
村岡地区	● 恐竜の発信（恐竜博物館） ● 縄文時代からはじまる自然と共生する暮らし ● 一向一揆の拠点、勝山のはじまり
北谷地区	● 日本最大の恐竜発掘地 ● 加賀牛首との往來拠点として発展した農山村 ● 越前白山麓の豪雪地帯の暮らし
野向地区	● 蓮如上人の心が宿る地域と野津又城 ● 郡上藩支配の名残り ● 豪農と農業文化（比良野家、食） ● 加賀新保との往來
荒土地区	● 一向一揆の山城、壇ヶ城 ● 鉦山のまちとしての発展 ● 農村文化（炭焼き、ウド） ● 九頭竜川とのたたかい
北郷地区	● 古戦場 ● 北袋銀山と坂東島鉦山 ● 江戸時代の庄屋屋敷、旧木下家住宅 ● 自然と宗教空間（岩屋観音）
鹿谷地区	● 農村文化（ござぼうしなど） ● 雪と共生する文化 ● 鯖江藩支配の名残り
遅羽地区	● 三室縄文遺跡 ● 勝山の玄関口えちぜん鉄道勝山駅舎 ● パンピラインなどの里山環境

※●の色はテーマと対応

文化財の特徴的なテーマ
1. 恐竜、古生物の眠る地層
2. 九頭竜川とその支流が形成した河岸段丘と小渓谷
3. 縄文にはじまる山、川の恵み
4. 雪国の自然と巨木の信仰
5. 平泉寺と白山信仰
6. 白山平泉寺と一向一揆
7. 勝山城下町と他藩との交流
8. 左義長や地域のまつり
9. 鉦山と石灰山
10. たばこ・製糸と織物産業の発展
11. 交通の要
12. 近世農村の営みと真宗信仰
13. 白山麓の山村文化
14. 戦後の芸術文化の醸成と近代建築

